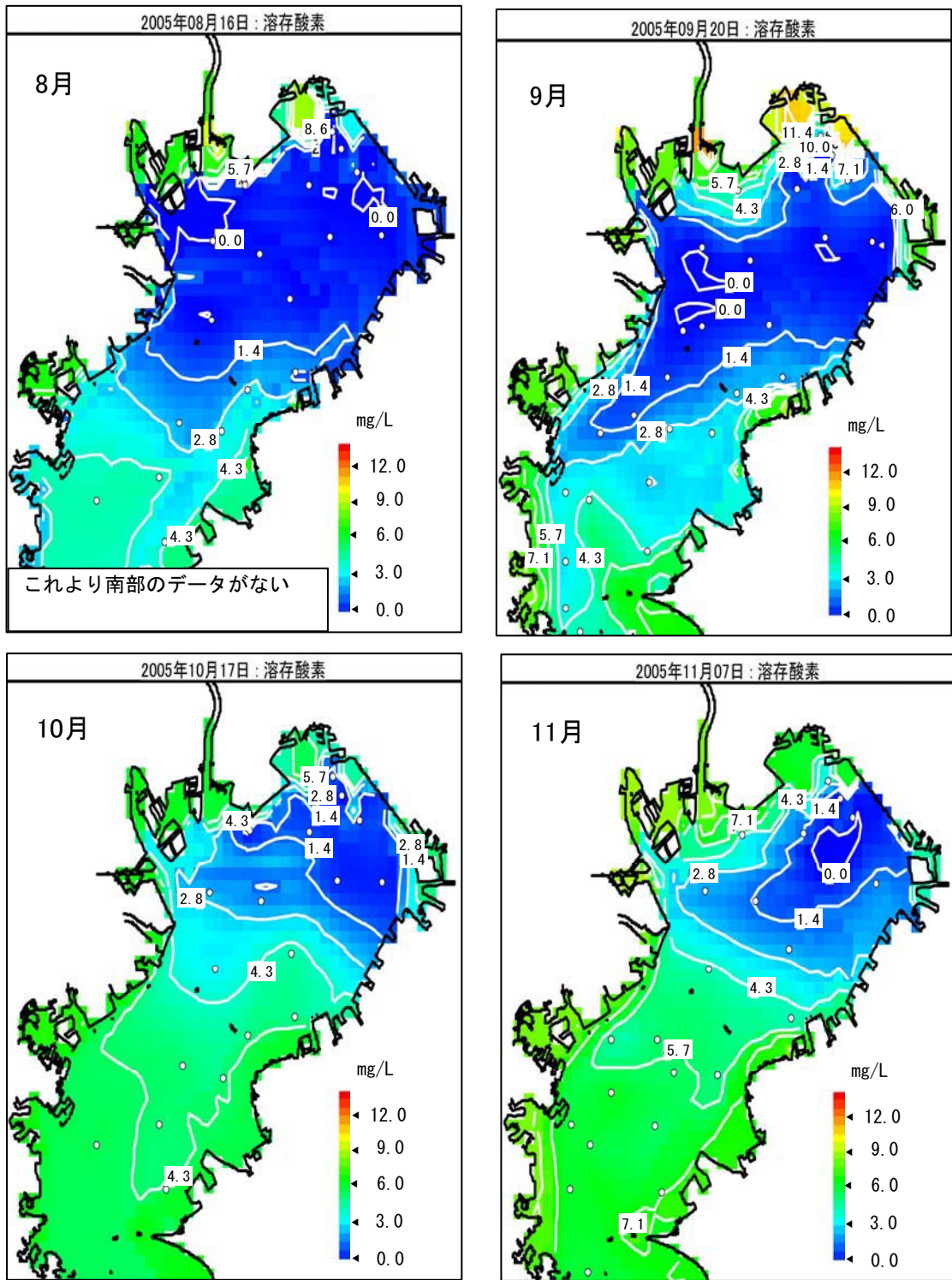


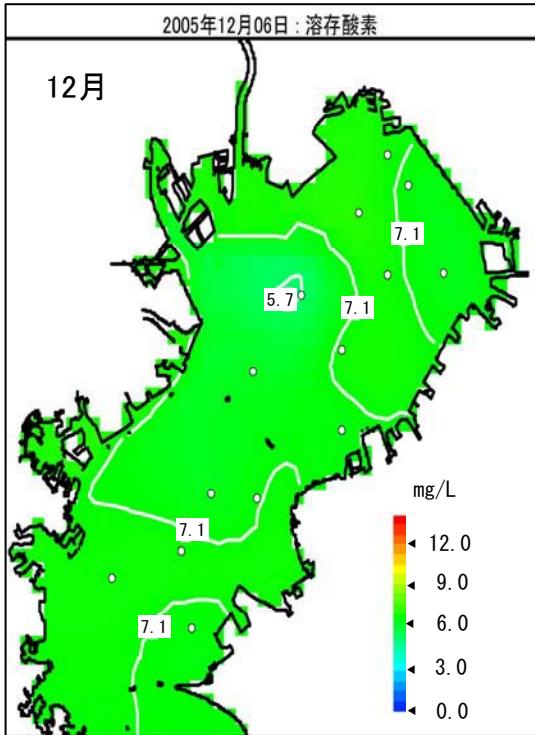
出典：「貧酸素水塊速報」(千葉県水産総合研究センター)

図9 (1) 東京湾の底層DOの分布図



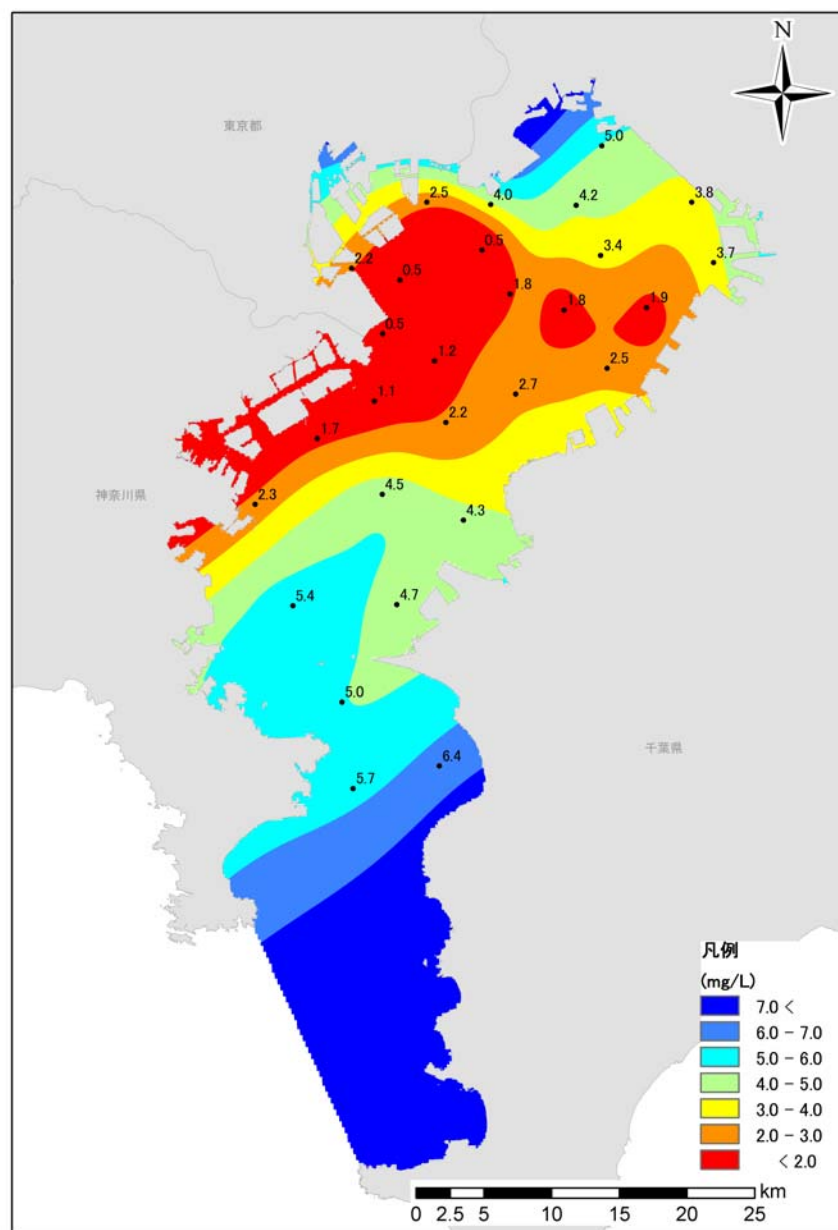
出典：「貧酸素水塊速報」（千葉県水産総合研究センター）

図9（2） 東京湾の底層DOの分布図



出典：「貧酸素水塊速報」（千葉県水産総合研究センター）

図9（3） 東京湾の底層DOの分布図

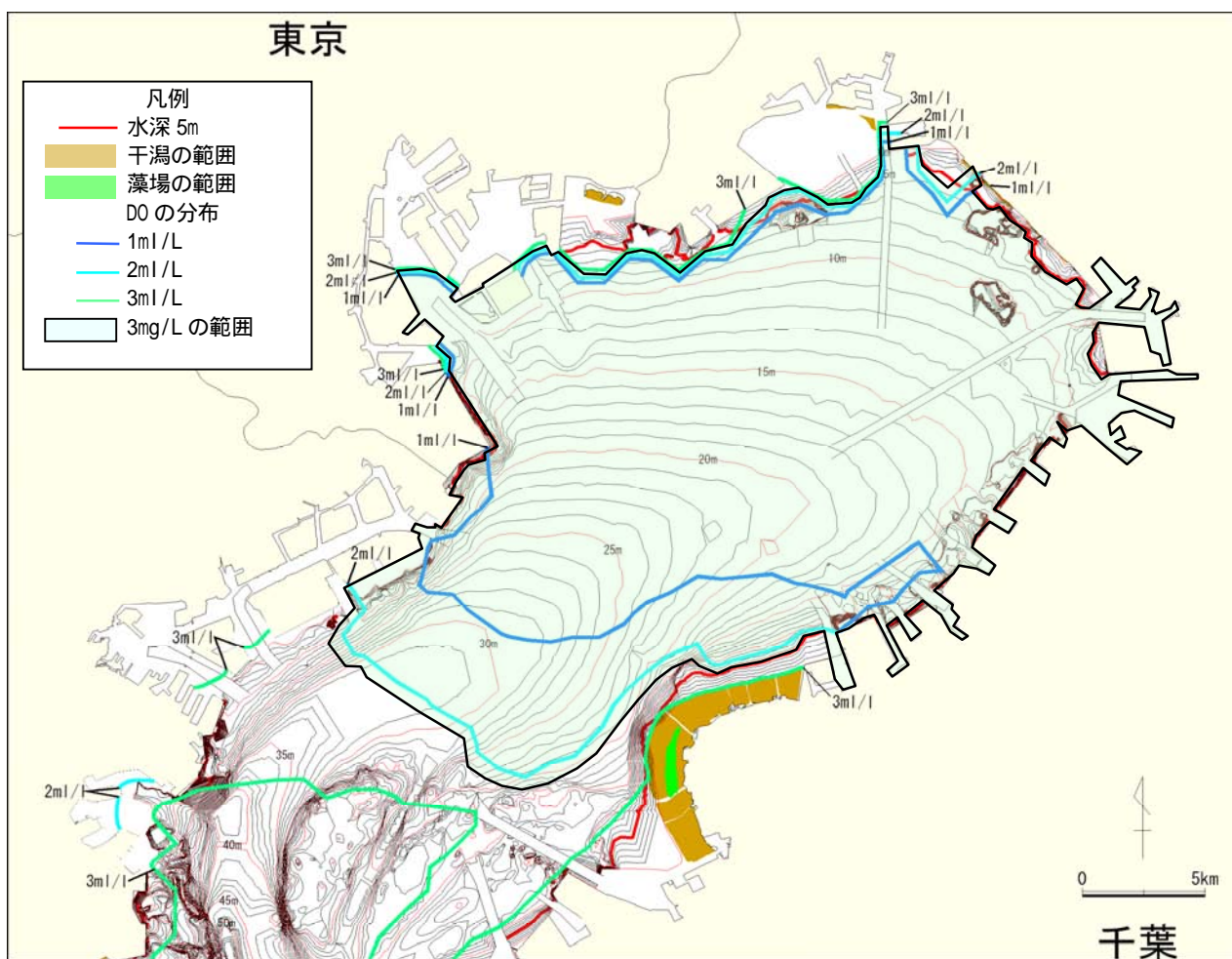


平成18～20年度の夏季平均

出典) 広域総合水質調査(環境省)平成18年度～平成20年度データより作成

注: 水質水平分図の作成における地点間補間については、地点間の内外を問わず、スプライン関数を用いた空間補間の方法により行った。

図9(4) 東京湾の夏季底層DOの分布



注：1ml/L = 1.4mg/L、2ml/L = 2.9mg/L、3ml/L = 4.3mg/L

出典：「貧酸素水塊速報」(千葉県水産総合研究センター)のDO分布(2005年8月)を水深図に重ね合わせた。

図10 東京湾における貧酸素水の分布

表4 東京湾における主要な魚介類の選定結果

種	周年定住種*	漁獲量(近年10ヶ年の合計漁獲量が50位以内)	保護水面	産卵場や成育場が藻場、干潟等の特定の「場」に依存する**	選定結果	選定理由	
アケメ	○		東京湾には保護水面は設定されていない				
アカマス		○					
イカダレイ	○	○			○	○	成育場が干潟に依存する。
ウナギ							
ウマヅラハギ	○						
カタクチイシ		○					
コノシロ	○	○					
スズキ	○	○			○	○	成育場がアマモ場に依存する。
ヒラメ	○	○			○	○	成育場が干潟に依存する。
ホラ		○					
マアジ		○					
マアナゴ		○					
マイシ		○					
マコガレイ	○	○			○	○	成育場が干潟、アマモ場に依存する。
マサバ		○					
マダイ	○	○			○	○	成育場がアマモ場に依存する。
マハゼ	○						
メバル	○				○	○	成育場が岩礁性藻場に依存する。
アカガイ	○						
アサリ	○	○			○	○	成育場が干潟に依存する。
トリガイ	○						
ハカガイ	○	○			○	○	成育場が干潟に依存する。
ヤマトシジミ	○						
コウイカ	○	○					
マダコ	○	○					
シハエビ	○						
シヤコ	○	○					
ニホンイサナミ	○						

* 魚介類の生態特性により推定した。

** 魚介類の生態特性より、産卵場あるいは成育場のいずれかにおいて、砂浜性藻場、岩礁性藻場、干潟、サンゴ礁のいずれかを利用するものに○を付した。岩礁性藻場、岩礁域のいずれも利用するものは特定の場に依存するとはしていない。

表5 (1) 東京湾における主要な魚介類8種の生態特性

■ : 分布域
 ■ : 分布域(情報不足)

東京湾の 主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態			幼稚仔魚の分布域(底質環境)											
				卵	仔魚期	稚魚期	泥	干潟	砂・泥	アマモ場	砂・礫	岩礁	アラモ場	カジメ場	ガラモ場	コンブ場	その他藻場	その他
スズキ	分離浮性卵 産卵期: 11~3月 稚魚期: 4月~秋季	表層	岩礁域(外海水の影響を受ける水深50~80m)	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活(沿岸域) (仔魚後期はアマモ場・河口域周辺に移動する)	底生生活					稚魚期(体長12~60mmまで)							河川域: 稚魚期(体長12~60mmまで)
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
イシガレイ	分離浮性卵 産卵期: 11~2月 稚魚期: 2月~秋季	表層	内湾(水深30m以浅の砂泥域)	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活から底生生活へ移行(仔魚期変態期以降)	底生生活(10m以浅の浅所)												
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
マコガレイ	付着沈性卵 産卵期: 11~2月 稚魚期: 2月~秋季	表層	沿岸域(水深10~50mの砂泥・砂礫・岩礁)	海底塊状粘着	浮遊生活(変態期まで)(水深10m前後)	底生生活(30m以浅)												
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		
ヒラメ	分離浮性卵 産卵期: 2~6月 稚魚期: 春季~秋季	表層	沿岸域砂泥・砂礫・岩礁	浮遊生活(沿岸域)	浮遊生活(変態期まで)(表層~中層20mに多く分布)	底生生活(10m以浅)												
		表層下-10m																
		11-20m																
		21-30m																
		31-40m																
		41-50m																
51m~																		

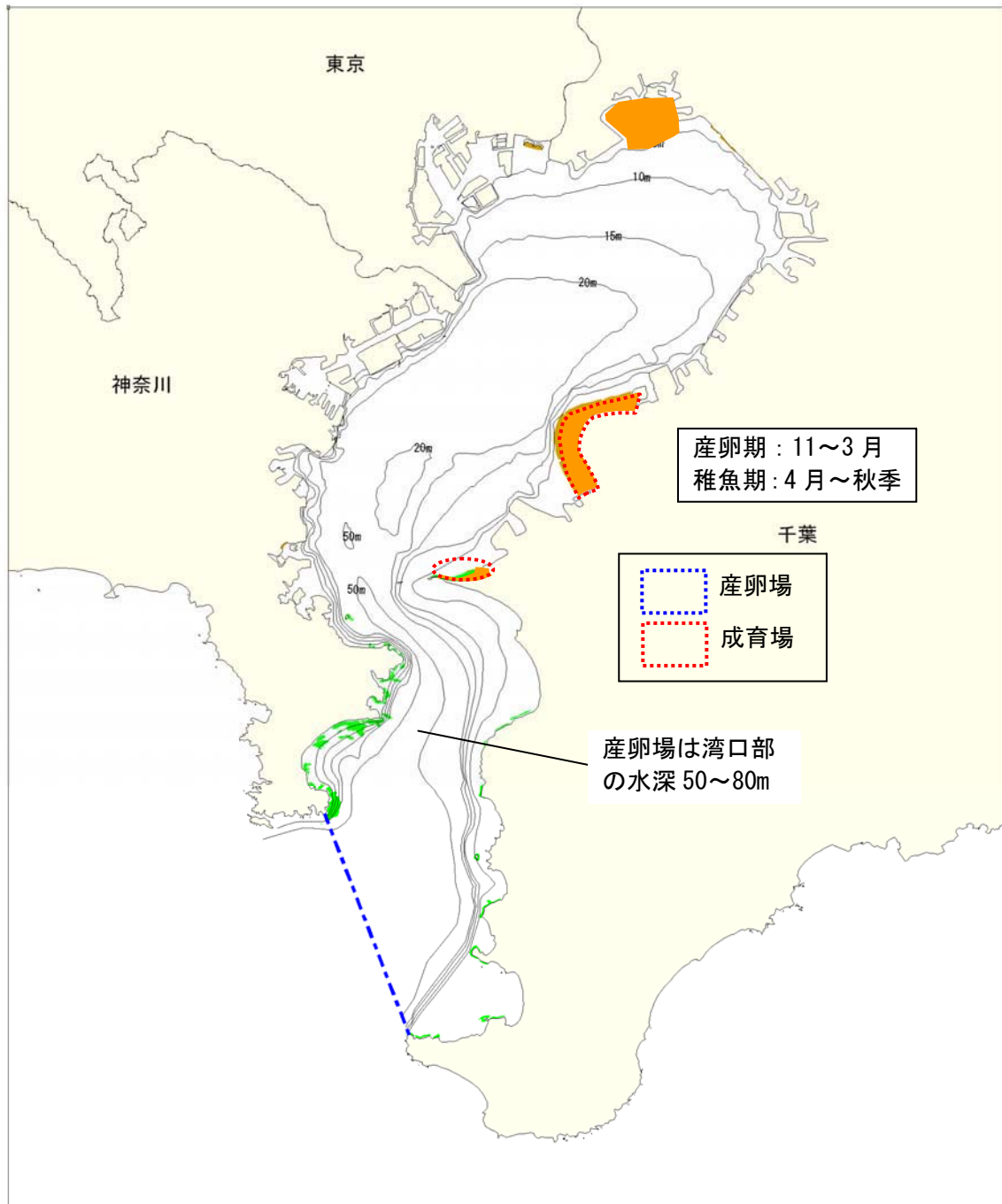
出典: 沿岸至近域における海洋生物の生態知見(魚類・イカタコ類編) ((財)海洋生物環境研究所,1991)
 新版魚類学(下)改訂版 (落合明・田中克,1998)
 水産生物の生活史と生態 ((社)日本水産資源保護協会,1985)

表5(2) 東京湾における主要な魚介類8種の生態特性

■ : 分布域
 ■ : 分布域(情報不足)

東京湾の 主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態			幼稚仔魚の分布域(底質環境)													
				卵	仔魚期	稚魚期	泥	干潟	砂・泥	アマモ場	砂・礫	岩礁	アラメ場	カジメ場	ガラモ場	コンブ場	その他藻場	その他		
マダイ	分離浮性卵 産卵期: 5~7月 稚魚期: 夏季~秋季	表層	岩礁域(水深30~100m)	浮遊生活 (沿岸域)	浮遊生活 (仔魚後期: 水深 10m前後)	底生生活(水深 20m以浅)				稚魚(水深20m以 浅)	稚魚(水深20m以 浅)									
		表層下~10m																		
		11~20m																		
		21~30m																		
		31~40m																		
		41~50m																		
51m~																				
メバル	卵胎生魚 産仔期: 12~2月 稚魚期: 3月~秋季	表層	潮流が速くホンダワラ類が繁 茂した岩礁域(水深20~ 30m)	浮遊生活(沿岸域) (水深10m前後)	底生生活(全長30 ~60mmで着底)													稚魚(着底後は藻場を中心する海域に生 息し、藻場の消長に応じて移動する)		
		表層下~10m																		
		11~20m																		
		21~30m																		
		31~40m																		
		41~50m																		
51m~																				
アサリ	分離浮性卵 産卵期: 3~7月 9~11月	表層	内湾・内湾の潮間帯~ 10mまでの砂泥底	浮遊生活 (沿岸域)	浮遊生活 (幼生期)	底生生活(浮遊期 間2~3週間後着 底)													稚貝	稚貝
		表層下~10m																		
		11~20m																		
		21~30m																		
		31~40m																		
		41~50m																		
51m~																				
バカガイ	分離浮性卵 産卵期: 4~7月 10月	表層	内湾の潮間帯~10mま での砂泥底	浮遊生活 (沿岸域)	浮遊生活 (幼生期)	底生生活(浮遊期 間約2週間後着底)													稚貝	稚貝
		表層下~10m																		
		11~20m																		
		21~30m																		
		31~40m																		
		41~50m																		
51m~																				

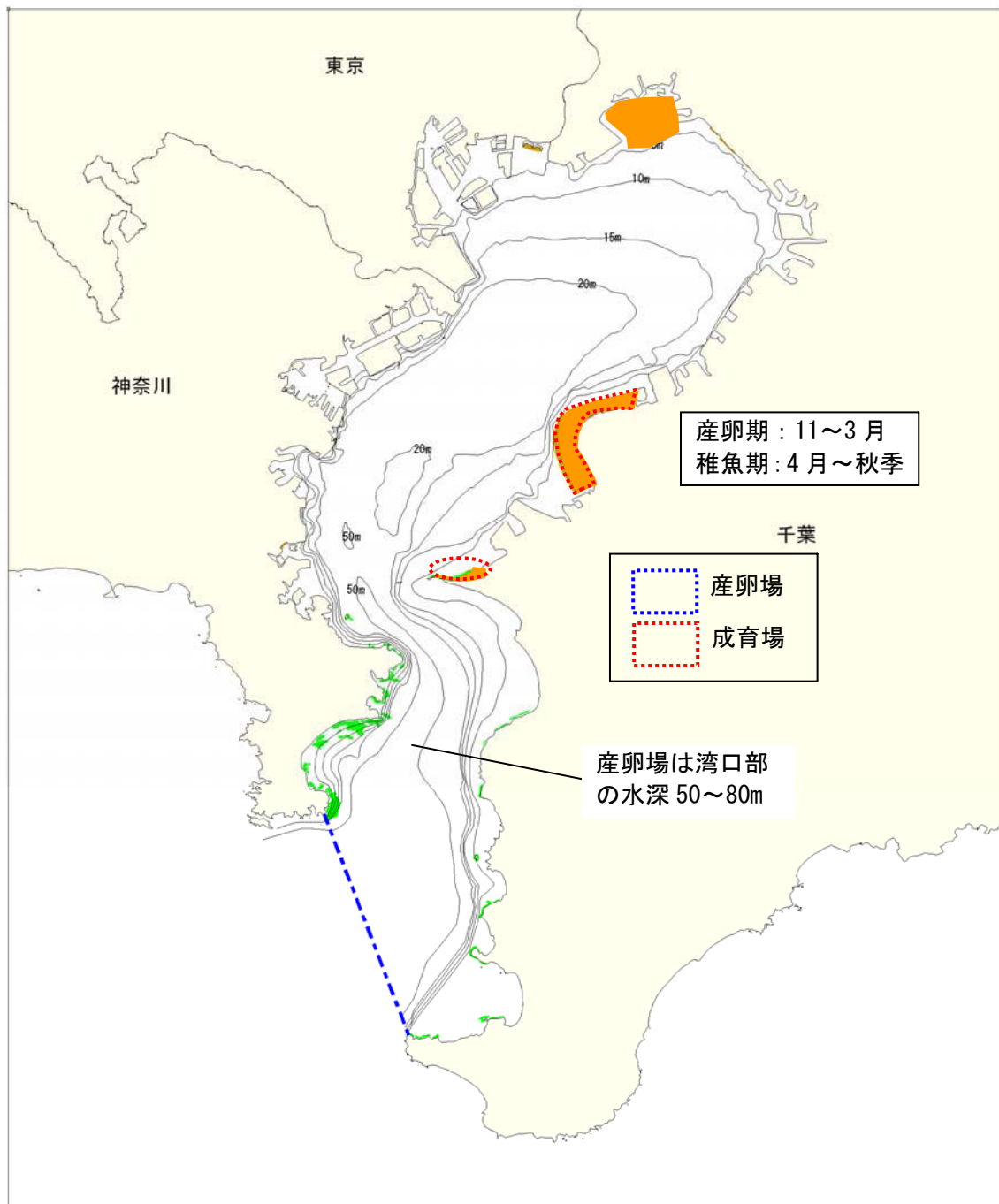
出典: 沿岸至近域における海洋生物の生態知見(魚類・イカコ類編) ((財)海洋生物環境研究所, 1991)
 新版魚類学(下)改訂版 (落合明・田中克, 1998)
 水産生物の生活史と生態 ((社)日本水産資源保護協会, 1985)



生態特性及び地理条件からみた好適な水域

注：この図は、地形及び規模から選定した主要な干潟（三番瀬、盤洲干潟、富津干潟）、アマモ場（盤洲干潟・富津干潟上のアマモ場）、岩礁性藻場（三浦半島沿岸）、浅場（湾奥部・中ノ瀬・富津地先・三浦半島沿岸・内房沿岸）について、生態特性からみて一致する範囲を図示している。このため、漁場や分布域がこの範囲に限定される訳ではない。

図11(1) 生態特性・地理条件・水質条件からみた好適な水域（スズキ）



生態特性・地理条件・水質条件からみた好適な水域

注：この図は、左図で示した範囲から、産卵期あるいは成育期が貧酸素水塊の発生期間（4～11月）と一致するものについて、貧酸素水塊が発生する範囲を除いたものである。

図11(2) 生態特性・地理条件・水質条件からみた好適な水域（スズキ）

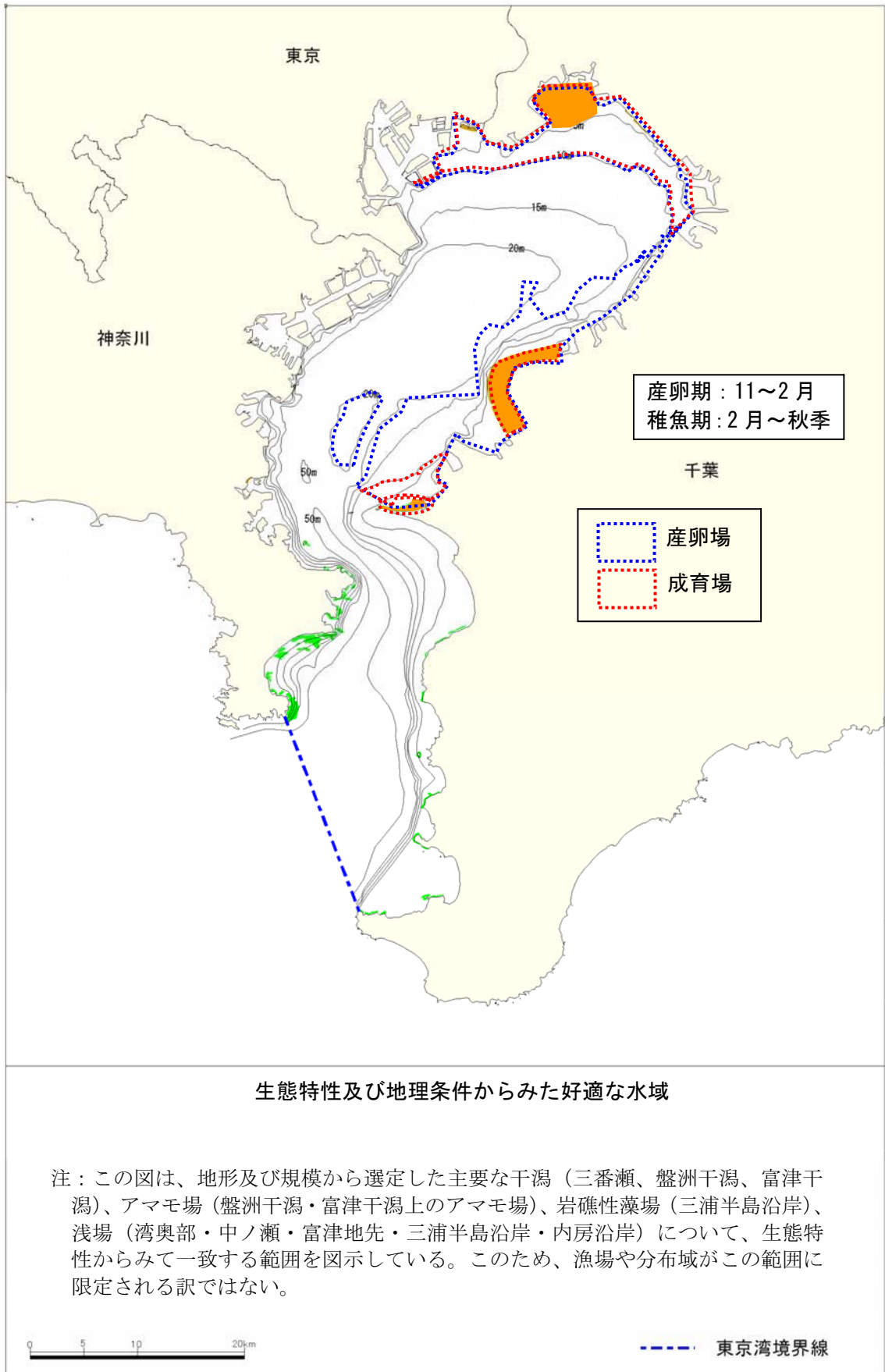


図 1 1 (3) 生態特性・地理条件・水質条件からみた好適な水域（イシガレイ）